

# 菊鹿愛

学校教育目標(菊鹿小中学校)  
「ふるさとを愛し、夢の実現に向けて  
挑戦し続ける児童生徒の育成」

菊鹿小スローガン  
～学び合い 伝え合い 菊鹿愛～  
文責(校長 早田 宗生)

## 心のアンケート 全校で実施

熊本県公立学校では毎年11月頃、県下一斉に「心のアンケート」を実施しています。これは、児童生徒対象の無記名アンケートでいじめなどについての調査をするものです。平成23年度までの「いじめアンケート」が発展的に改訂され「心のアンケート」として実施しているものです。平成23年10月に滋賀県大津市内中学校で起きた重大ないじめ事案をきっかけとして、いじめ防止推進法が議員立法で成立するなど、いじめ防止・早期解消に向けての関心が高まりましたが、熊本県では全国に先駆けて平成18年度から無記名アンケートに取り組んでおり、平成24年度は全国都道府県等からたくさんの問い合わせがあり、現在は熊本県のアンケートを参考として実施されている教育委員会も多くあります。本校での結果の一部を紹介します。

「学校が楽しい」や「授業がよくわかる」については、本校の学校評価でも聞いていますが、同様の結果でした。

「いじめられたことがあると感じている」児童は30人でした。内容は選択肢で、「冷やかし、からかい」「仲間はずれにされた」「言いがかり、おどし」などでした。なお、30人中13人が学校で起きたことでした。

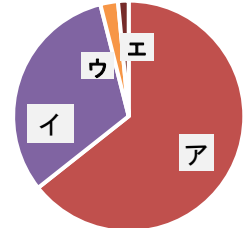
本校では、本校のいじめ防止基本方針(学校だより第3号で紹介。学校HPで全文公開。)に沿って、全児童との教育相談を行い、その後「いじめ・不登校対策委員会」で状況を共有し対応しています。学校外のいじめについても関係者と情報を共有しています。

学校でいじめられたと感じている13人のほとんどは、これまでに対応済みの事案でした。今も続いていると答えた2人のうち、1人は「誰かが自分に嫌なことを言っている」事案で、新たにいじめと認知しました。もう1人の「昼休みの遊びに入れないときがある」ことについては、関係者間で遊びのルールや声かけの仕方を話し合いました。これらの事案に限らず、気になる児童については全職員で情報を共有し見守りや指導をしていきます。

いじめに気付いたり、訴えがあったりした場合には、早期にチームで対応してきています。繰り返しますが、気になることがありましたら学校に連絡してください。一緒に見守っていきましょう。

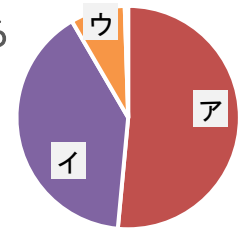
### 学校が楽しい

- ア 楽しい
- イ まあまあ楽しい
- ウ あまり楽しくない
- エ 楽しくない



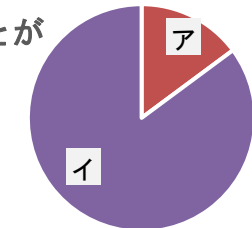
### 授業がよくわかる

- ア わかる
- イ まあまあわかる
- ウ あまりわからない
- エ わからない



### いじめられたことがあるか

- ア ある
- イ ない



大谷選手からのプレゼントが届きました(1月22日 贈呈式)

## 「みんな」を考えてみました

「みんな持っているから」「みんな言っているから」「みんなやっているから」などのように、「みんな」という言い方がされることがあり、それが理由付けに使われることもあります。「みんな」とは、「そこにいる、または、その集団に属する、すべての人」ということです。言い換えると「身の回りの全員」「知っている範囲の全員」で、「ある集団の全員」ですね。そこで考えなければならぬのは、その集団はどんな集団なのかということではないでしょうか。以前、「赤信号、みんなで渡れば・・・」というギャグが流行りましたが、世の中には「赤信号で渡る集団」もあれば「赤信号だから渡らない集団」もあるのかもしれません。これは極端な例でしょうが、「みんな」という自分の所属する集団のことを考えることも必要です。

一方で、「みんな」と言われる集団の中で見落とされている人がいないか、これは気を付けなければなりません。

例えば、本校の学校評価・心のアンケート中で、「学校が楽しい」の質問には96%以上の児童・保護者から肯定的な回答を頂いており、この値はこの2年間で毎回向上しています。だからといって、本校では、「みんなが楽しいと言っている」とは考えていません。3%程の児童・保護者は楽しくないと感じることが多いと回答されているからです。ですから、その声を拾う努力もしています。アンケートや教育相談も、そのほんの一部です。ある方からは「少数意見にも耳を傾けてほしい」との御意見もありました。本校では1人からの相談・要望(個別の具体的な内容はここでは伝えませんが)への対応が複数件あります。ただ、その方の思われること全てにその思いどおりにはいかない場合もあります。それぞれの思いにより近くなるような、それぞれの立場からの「折り合い」が必要になる場合があります。大人としては伝え方や解決方法の工夫もしてみてください。必ず受け止めて、一緒に考えます。